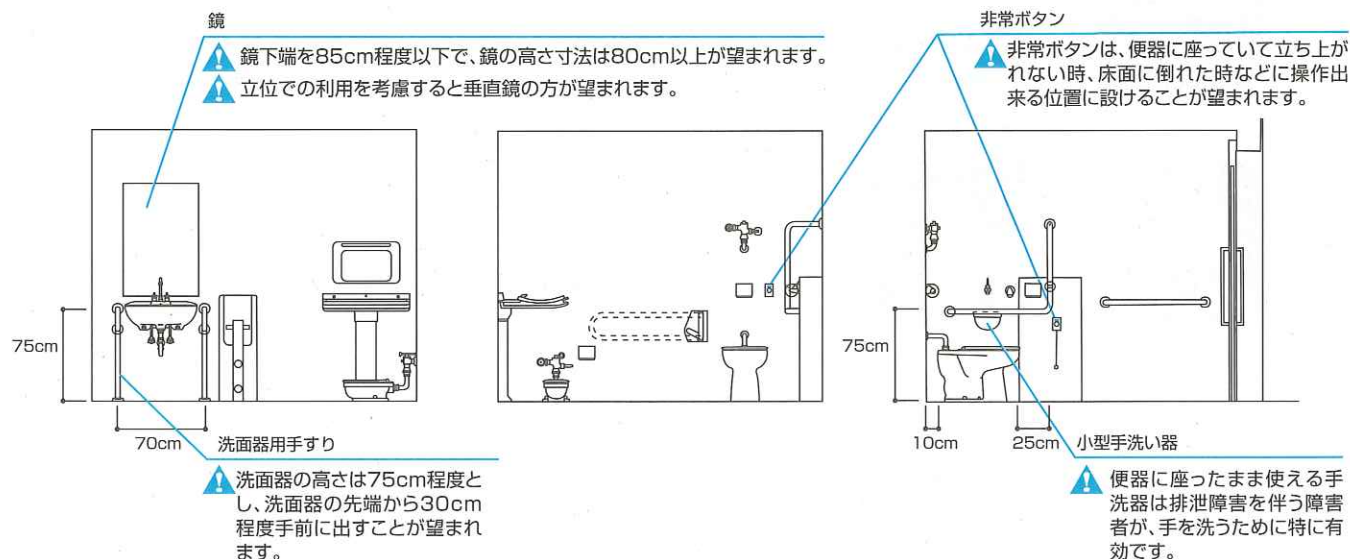
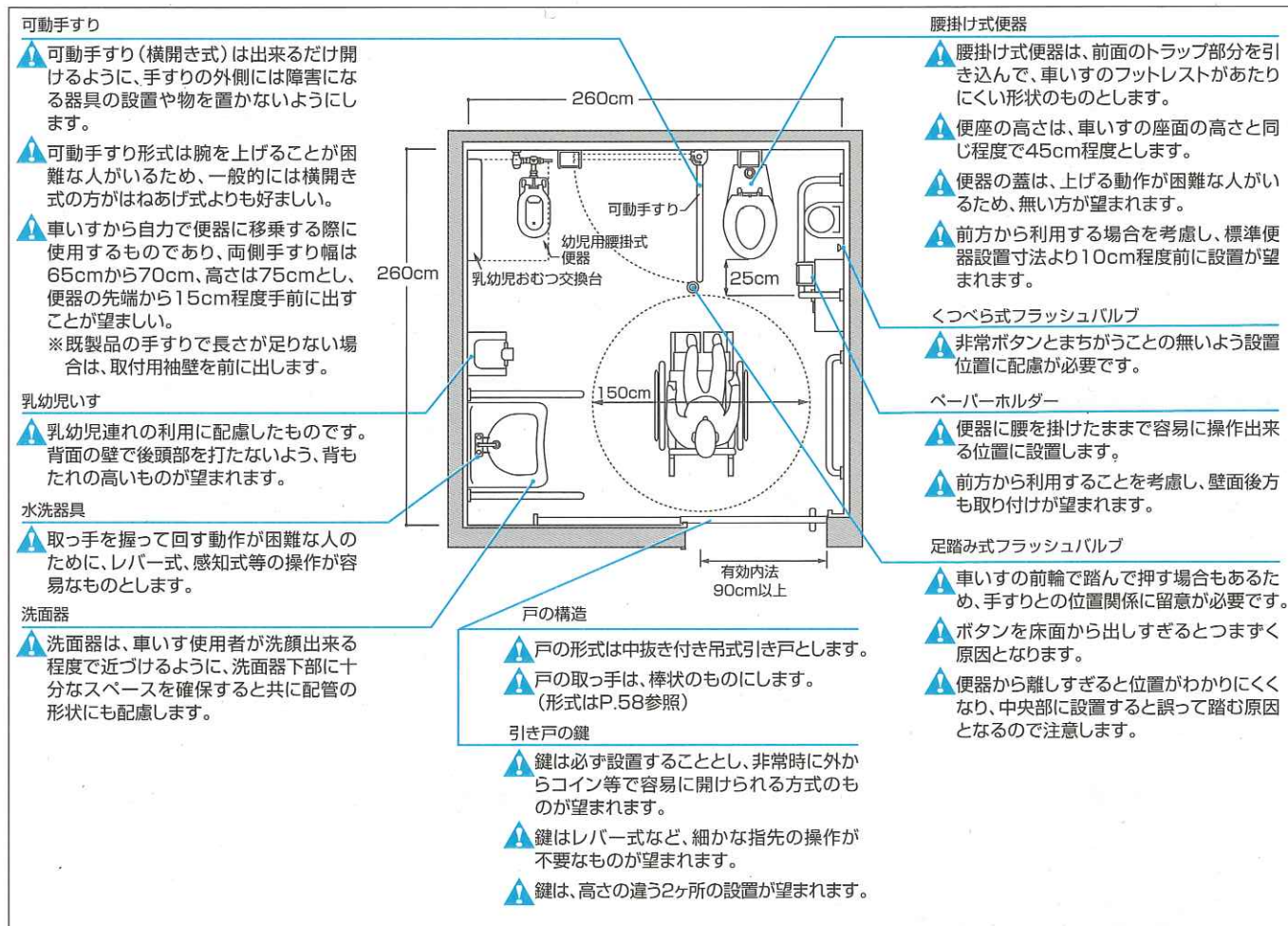


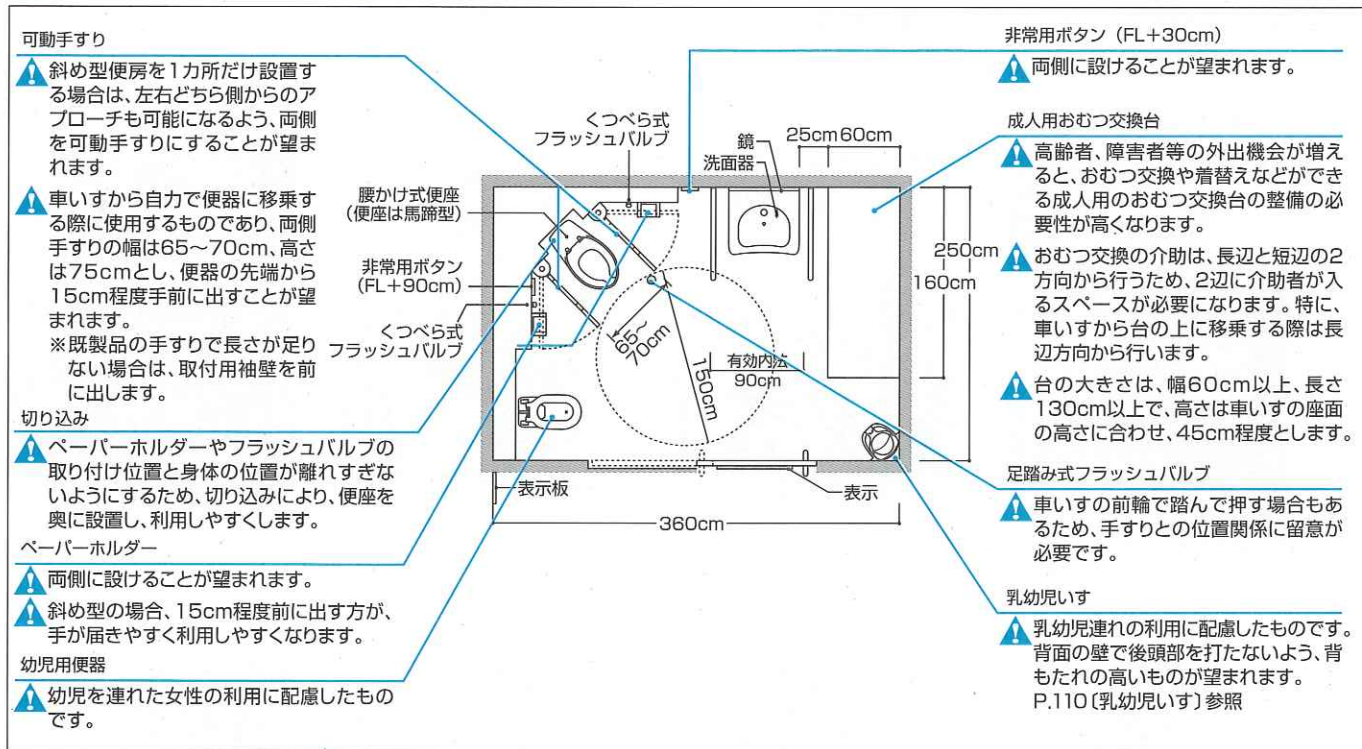
(6) 車いす使用者用便房③

多目的トイレ（片側型）の整備例

▲ 車いす使用者が利用できる便所は、建築物の出入口付近など、わかりやすく利用しやすい位置に設置します。

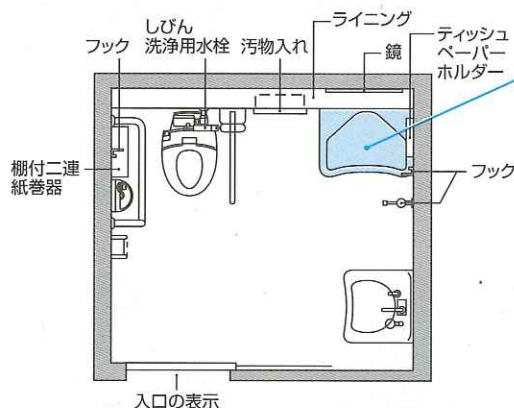


参考 斜め型（成人用おむつ交換台・男児用小便器併設）の整備例



参考 オストメイト対応設備を併設した例

オストメイトとは、人工肛門や人工ぼうこうなどのように、人工的に腹部に排泄口を作った人のことをいいます。オストメイトに対応した便所の設置は、大規模な駅、空港、高速道路のサービスエリア等で特に望まれています。特別な設備としては、汚れた衣服や腹部を洗うための「多目的流し」の設置が必要となります。



- 多目的流し**
- 多目的流しは、以下のように使います。
- ①ハンドシャワー
腹部を洗ったり、使用後のポール内を洗い流すために使います。
 - ②排水金具
固形物が流れないように目皿付きとする。簡単に拭き拭き清掃できるものが望まれます。
 - ③給湯設備
腹部の洗浄にお湯が必要です。お湯が出ると便の汚れを落としやすくなります。
 - ④注意表示
「パウチ内の便を直接流さないで下さい。便の処理は大便器で行って下さい。」といった表示が望まれます。

オストメイト対応便所の表示例

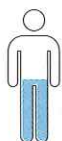


(6) 車いす使用者用便房 ④

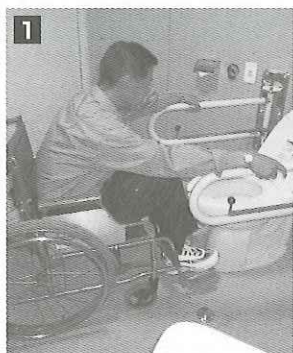
参考:車いす使用者の移乗動作例

①両下肢に麻痺がある場合(例えば脊髄損傷)

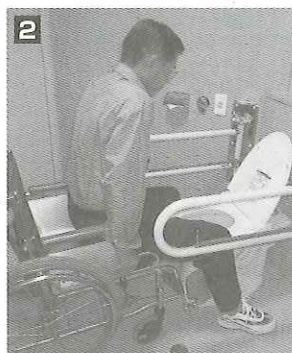
麻痺の状態により、主に正面からの移乗と斜めからの移乗の2通りの方法があります。



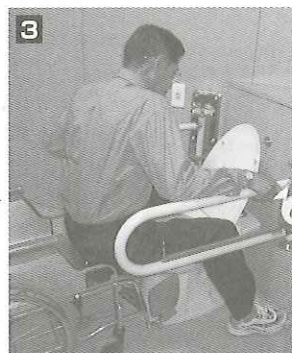
①-1 正面からの移乗の場合



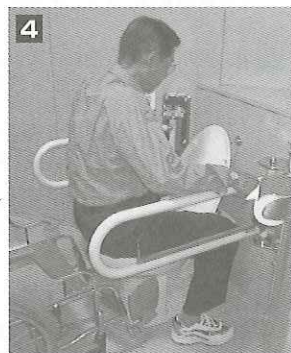
1 正面から便器に近づき、便器の正面に車いすを近づけます。



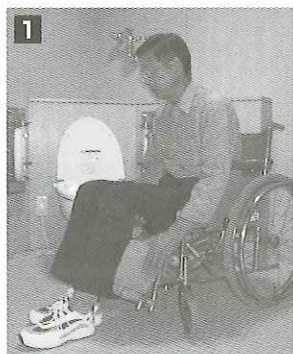
2 車いすのアームレストにつかまって、体を押し上げ、便器の縁に移ります。



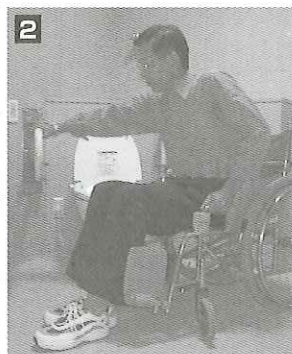
3 両側の手すりにつかまって、さらに深く便器にまたがり、用を足します。



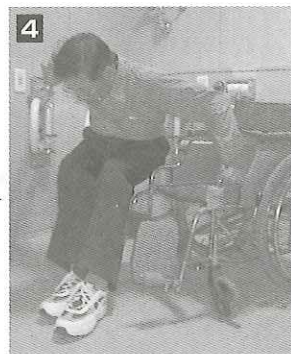
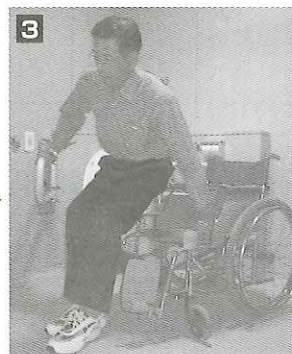
①-2 斜めからの移乗の場合



1 便器の斜め前に車いすを近づけます。



2 便器側の腕で手すりを、もう一方の腕で車いすのアームレストにつかまり、体を押し上げながら便器に移り用を足します。

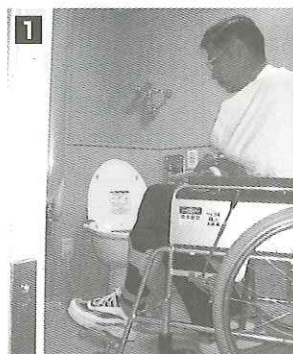


②片方の手足に麻痺がある場合(例えば脳卒中)

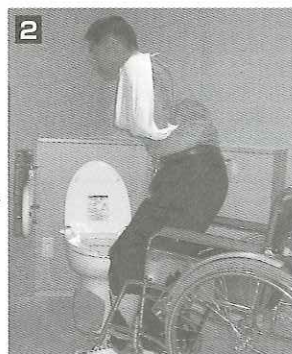
左右どちらか一方に麻痺がある場合、動く方の手足が便器に近づくように斜めから移乗します。麻痺の状態により、介助の度合いが異なります。



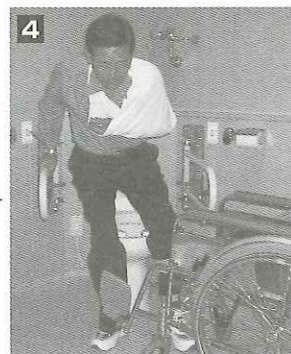
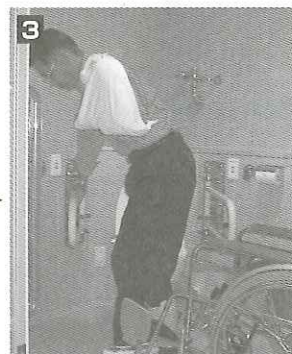
②-1 介助なしの場合

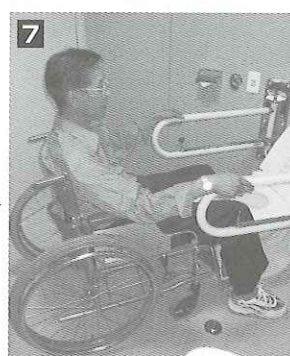
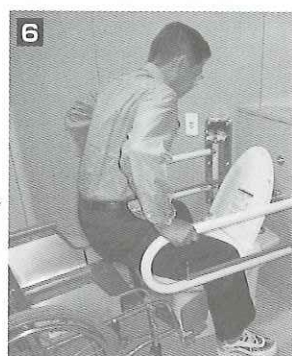
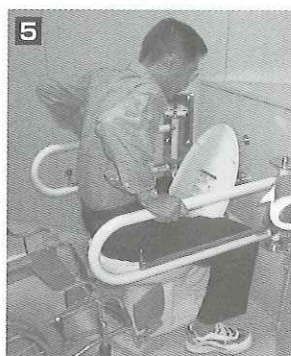


1 動く方の手足が便器に近づくようにして、便器の斜め前に車いすを近づけます。

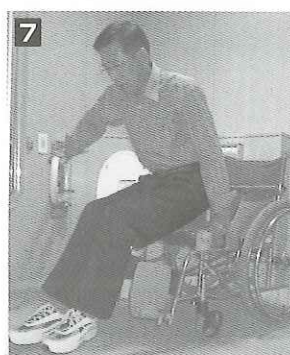
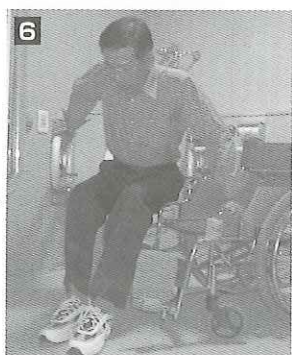
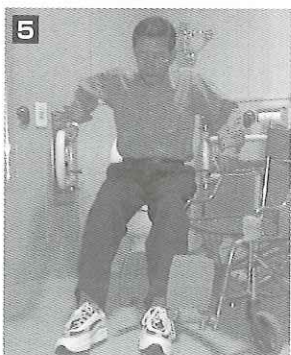


2 動く方の腕で手すりにつかまって立ち上がり、動く側の腰を手すりにもたれかけて便器に移り用を足します。





両側の手すりにつかまって、体を押し上げながら車いすに移ります。



便器側の腕で手すりを、もう一方の腕で車いすのアームレストにつかまり、体を押し上げながら車いすに移ります。



車いすのアームレストにつかまって立ち上がり、動く側の腰を手すりに持たれかからながら、アームレストを持ち替えて体の向きを変えて車いすに移ります。